



第13回産業日本語研究会・シンポジウム

Japio-AI翻訳のご紹介



一般財団法人

日本特許情報機構

Japan Patent Information Organization



0. 会社概要

1. サービス提供の背景
2. サービスの特徴と内容



一般財団法人日本特許情報機構(Japio)

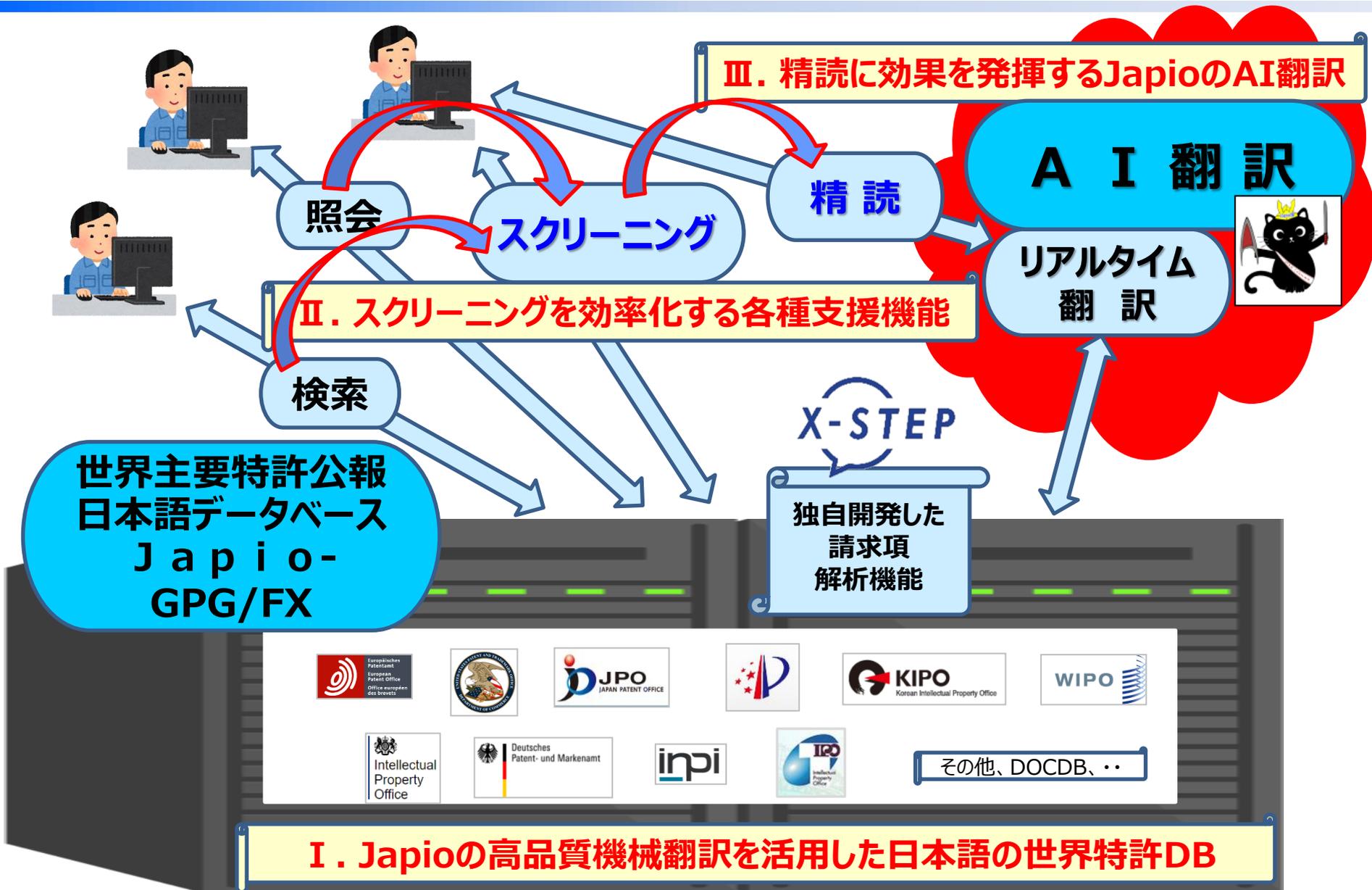
- 名称 一般財団法人 日本特許情報機構
Japan Patent Information Organization (J a p i o)
- 設立 昭和60 (1985) 年8月1日
- 基本財産 10億5,246万円
- 役員 松井理事長 他 常勤理事2名、非常勤12名
- 沿革
 - 昭和46 (1971) 年 (財) 日本特許情報センター (Japatic) 設立
 - 昭和53 (1978) 年 特許情報オンライン検索システム パトリス(PATOLIS)サービス開始
 - 昭和60 (1985) 年 (財) 日本特許情報機構 (Japio) 設立
 - 平成13 (2001) 年 民需事業 (パトリスサービス) の民間への営業譲渡
 - 平成21 (2009) 年9月 公益法人制度改革の対応として一般財団法人へ移行
 - 平成24 (2012) 年7月 Japio世界特許情報検索サービス (Japio-GPG) サービス開始
 - 平成26 (2014) 年8月 Japio世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX) サービス開始
 - 令和 2 (2020) 年3月 Japio-GPG/FXのオプションサービスとして、AI翻訳サービス 開始
 - 令和 3 (2021) 年4月 Japio-AI翻訳 サービス開始

<https://japio.or.jp/>



0. 会社概要
- 1. サービス提供の背景**
2. サービスの特徴と内容

1.1 Japio-GPG/FX の特徴





特許に特化した高精度なAI翻訳機能を提供

(ポイント1) 更に向上した翻訳品質

構文の正確性や流暢さが飛躍的に向上

独自開発の言語資源とノウハウにより、特許特有表現もさらに読みやすく

(ポイント2) 多言語対応

外国語から日本語へ：米国公報、中国公報、台湾公報、ドイツ公報など

日本語から英語へ：日本公報

翻訳例

【英語】 2. The AR computing device of claim 1, wherein the AR computing device is further configured to assign an identifier to the first consumer.

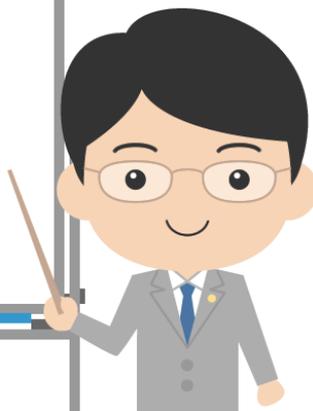
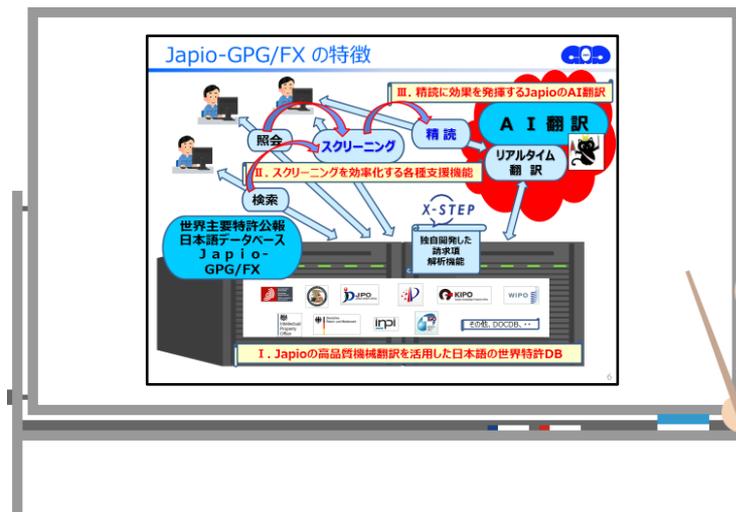
【AI翻訳】 2. ARコンピューティングデバイスは、第1の消費者に識別子を割り当てるようにさらに構成されることを特徴とする請求項1に記載のARコンピューティングデバイス。

【中国語】 并在真空下浓缩，得到产物，用柱层析法(10%MeOH/CHCl₃)纯化产物(89%)。

【AI翻訳】 真空下で濃縮して生成物を得、これをカラムクロマトグラフィー(10% MeOH/CHCl₃)で精製した(89%)。

※ AI翻訳サービスは有料オプションユーザー様へのご提供

1.3 新たなサービスの要望



Japio-GPG/FXのAI翻訳は特許文献の精読に効果を発揮します！

海外特許出願の翻訳に使いたいから、テキスト入力翻訳が出来て費用が安いと助かるんだけどな～



テキスト入力翻訳に特化した新たな機械翻訳サービスを提供します！





- 0. 会社概要
- 1. サービス提供の背景
- 2. サービスの特徴と内容**



特許に特化した高精度なAI翻訳機能を活用

(ポイント1) 更に向上した翻訳品質

構文の正確性や流暢さが飛躍的に向上

独自開発の言語資源とノウハウにより、特許特有表現もさらに読みやすく

(ポイント2) 多言語対応

日本語から外国語へ：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語

外国語から日本語へ：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、
ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語

(ポイント3) 各種出力に対応（PDF、Excel、txt）

(ポイント4) テキストのハイライト機能により、目的単語を 素早く把握

サービス内容：フリーテキスト翻訳 100万文字/月



- ① 海外特許出願原稿の翻訳
- ② 請求項や明細書の補正案の翻訳
- ③ 公報の特定箇所（実施例など）の翻訳
- ④ 補正書の翻訳

2.3 テキスト入力



- ① 多言語翻訳が選択可能
- ② 「明細書用」「請求項用」の翻訳に対応
- ③ ①、②は、デフォルトでは「自動判定」
- ④ フリーテキストを入力し、最大10万文字まで翻訳可能

Japio-AI翻訳

マニュアル ヘルプ ログアウト
今月翻訳文字数：1,962/1,000,000
残 998,038

テキスト入力 公報番号入力

翻訳方向：
 自動判定 英語 ⇒ 日本語 中国語（簡体字） ⇒ 日本語 中国語（繁体字） ⇒ 日本語 韓国語 ⇒ 日本語
 ドイツ語 ⇒ 日本語 フランス語 ⇒ 日本語 スペイン語 ⇒ 日本語 ロシア語 ⇒ 日本語
 日本語 ⇒ 英語 日本語 ⇒ 中国語（簡体字） 日本語 ⇒ 中国語（繁体字） 日本語 ⇒ 韓国語

翻訳モード：
 自動判定 明細書用 請求項用

【技術分野】
本発明は、道路に設置されて、道路上の歩行者や車両が保持する端末装置と通信を行う路側装置、および端末装置同士の間で行われる端末間通信の輻輳を回避する通信輻輳制御方法に関するものである。

【背景技術】
近年、ITS（Intelligent Transport System：高度道路交通システム）を利用した安全運転支援無線システムが実用化されている。また、近年、自動運転車の走行を支援する自動走行システムの実用化に向けた検討が進められており、特に自動走行システムにITS通信を適用するための検討も行われている。このような自動走行システムにITS通信を適用する場合、ITS通信に輻輳が発生すると、自動運転車の通行を適切に支援することができなくなるという問題がある。

一方、車両の通行を支援する技術として、交差点ごとに設置された複数の路側機を連携させて、緊急車両の接近および移動方向に関する情報を路側機間でリレーすることで、緊急車両の接近を、広範囲に存在する車両に対して通知する技術が知られている。

また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。

また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。

【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、特許文献1に開示された技術では、自動運転車が接近することを通知できるだけであり、自動運転車の周辺で発生する通信輻輳を回避することはできない。また、特許文献2に開示された技術では、街路に多数ある交差点に軸重センサを設置するために莫大な費用がかかり、街路の交差点における通信輻輳の実用的な解決策とはならない。そこで、本発明は、街路の交差点におけるITS通信の輻輳を確実に回避して、自動運転車の通行を適切に支援することができる路側装置および通信輻輳制御方法を提供することを主な目的とする。

翻訳開始 クリア

入力文字数：981/100,000

今月の翻訳文字数ならびに
残数が表示されます。

①

③

②

④

入力文字数が表示されます。

2.4 テキスト翻訳



- ① 原文テキストと翻訳文テキストを改行毎に表示
- ② Excelのほか、PDF(原文あり)、PDF(訳文のみ)、txtファイルで出力できます。

Japio-AI翻訳

マニュアル 翻訳条件入力へ戻る ログアウト

原文表示 再翻訳
Excel 出力

②

①

実行した翻訳方向ならびに翻訳モードが表示されます。
このケースでは、「日本語」→「英語」、「明細書モード」

日本語から英語へ、明細書モードにて翻訳した結果を表示します。

原文	訳文
【技術分野】 本発明は、道路に設置されて、道路上の歩行者や車両が保持する端末装置と通信を行う路側装置、および端末装置同士の間で行われる端末間通信の輻輳を回避する通信輻輳制御方法に関するものである。	[Technical Field] The present invention relates to a roadside apparatus which is installed on a road and communicates with a pedestrian on the road or a terminal device held by a vehicle, and a communication congestion control method which avoids congestion of inter-terminal communication performed between the terminal devices.
【背景技術】 近年、ITS (Intelligent Transport System : 高度道路交通システム) を利用した安全運転支援無線システムが実用化されている。また、近年、自動運転車の走行を支援する自動走行システムの実用化に向けた検討が進められており、特に自動走行システムにITS通信を運用するための検討も行われている。このような自動走行システムにITS通信を運用する場合、ITS通信に輻輳が発生すると、自動運転車の通行を適切に支援することができなくなるといった問題がある。	[Background of the Invention] In recent years, a safe driving support wireless system using ITS (Intelligent Transport System: Advanced Radio Transfer System) has been put to practical use. In recent years, studies toward practical use of an automatic driving system that supports driving of an automatic driving vehicle have been made, and in particular, studies for applying ITS communication to an automatic driving system have also been made. When the ITS communication is applied to such an automatic driving system, if congestion occurs in the ITS communication, there is a problem in that the traffic of the automatic driving vehicle cannot be appropriately supported.
一方、車両の通行を支援する技術として、交差点ごとに設置された複数の路側機を連携させて、緊急車両の接近および移動方向に関する情報を路側機間でリレーすることで、緊急車両の接近を、広範囲に存在する車両に対して通知する技術が知られている。	On the other hand, as a technique for supporting traffic of a vehicle, there is known a technique in which a plurality of road-side machines installed at respective intersections are linked to relay information related to approaching and moving directions of emergency vehicles between road-side machines, thereby informing the vehicles existing in a wide range of approaching of emergency vehicles.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された軸重センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、特許文獻1に開示された技術では、自動運転車が接近することを通知できるだけであり、自動運転車の周辺で発生する通信輻輳を回避することはできない。また、特許文獻2に開示された技術では、街路に多数ある交差点に軸重センサを設置するために莫大な費用がかかり、街路の交差点における通信輻輳の実用的な解決策とはならない。 そこで、本発明は、街路の交差点におけるITS通信の輻輳を確実に回避して、自動運転車の通行を適切に支援することができ、路側装置および通信輻輳制御方法を提供することを主な目的とする。	[Problem to be solved by the invention] However, the technology disclosed in PTL 1 can only notify that the motorcycle is approaching, and communication congestion occurring around the motorcycle cannot be avoided. Also, the technology disclosed in PTL 2 requires enormous costs to install the axis sensor at many intersections in the street, and is not a practical solution to communication congestion at intersections in the street. Accordingly, it is a main object of the present invention to provide a roadside apparatus and a communication congestion control method capable of reliably avoiding congestion of ITS communication at an intersection of streets and appropriately supporting passage of an automatic driving vehicle.

2.5 キーワードハイライト表示



- ① ハイライト用語の指定、ハイライトカラーの変更が可能
- ② ハイライト用語指定時にスペクトルバーを表示
- ③ 指定したスペクトルバーの位置に表示画面が移動

Japio-AI翻訳

マニュアル ヘルプ 翻訳条件入力へ戻る ログアウト

原文表示 再翻訳

Excel

日本語から英語へ、明細書モードにて翻訳した結果を表示します。

原文	訳文
【技術分野】	[Technical Field]
本発明は、道路に設置されて、道路上の歩行者や車両が保持する端末装置と通信を行う路側装置、および端末装置同士の間で行われる端末間通信の輻輳を回避する通信輻輳制御方法に関するものである。	The present invention relates to a roadside apparatus which is installed on a road and communicates with a pedestrian on the road or a terminal device held by a vehicle, and a communication congestion control method which avoids congestion of inter-terminal communication performed between the terminal devices.
【背景技術】	[Background of the Invention]
近年、ITS (Intelligent Transport System : 高度道路交通システム) を利用した安全運転支援無線システムが実用化されている。また、近年、自動運転車の走行を支援する自動走行システムの実用化に向けた検討が進められており、特に自動走行システムにITS通信を適用するための検討も行われている。このような自動走行システムにITS通信を適用する場合、ITS通信に輻輳が発生すると、自動運転車の通行を適切に支援することができなくなるという問題がある。	In recent years, a safe driving support wireless system using ITS (Intelligent Transport System: Advanced Radio Transfer System) has been put to practical use. In recent years, studies toward practical use of an automatic driving system that supports driving of an automatic driving vehicle have been made, and in particular, studies for applying ITS communication to an automatic driving system have also been made. When the ITS communication is applied to such an automatic driving system, if congestion occurs in the ITS communication, there is a problem in that the traffic of the automatic driving vehicle cannot be appropriately supported.
一方、車両の通行を支援する技術として、交差点ごとに設置された複数の路側機を連携させて、緊急車両の接近および移動方向に関する情報を路側機間でリレーすることで、緊急車両の接近を、広範囲に存在する車両に対して通知する技術が知られている。	On the other hand, as a technique for supporting traffic of a vehicle, there is known a technique in which a plurality of road-side machines installed at respective intersections are linked to relay information related to approaching and moving directions of emergency vehicles between road-side machines, thereby informing the vehicles existing in a wide range of approaching of emergency vehicles.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された検出センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
また、路側機の通信エリアにおける通信輻輳を回避する技術として、路側機の通信エリアの上流側に設置された検出センサで検出された車両の通行状況に基づいて、通信エリアに進入する車両の台数、すなわち、車載端末の台数を予測して、通信輻輳を回避するための制御を行う技術が知られている。	As a technique for avoiding communication congestion in a communication area of a roadside apparatus, there is known a technique for performing control for avoiding communication congestion by predicting the number of vehicles entering the communication area, that is, the number of in-vehicle terminals, based on a traffic condition of the vehicle detected by an axis weight sensor installed upstream of the communication area of the roadside apparatus.
【発明が解決しようとする課題】	[Problem to be solved by the invention]
しかしながら、特許文献1に開示された技術では、自動運転車が接近することを通知できるだけであり、自動運転車の周辺で発生する通信輻輳を回避することはできない。また、特許文献2に開示された技術では、街路に多数ある交差点に軸重センサを設置するために莫大な費用がかかり、街路の交差点における通信輻輳の実用的な解決策とはならない。	However, the technology disclosed in PTL 1 can only notify that the motorcycle is approaching, and communication congestion occurring around the motorcycle cannot be avoided. Also, the technology disclosed in PTL 2 requires enormous costs to install the axis sensor at many intersections in the street, and is not a practical solution to communication congestion at intersections in the street.

ハイライト表示した用語の位置を明示するので、目的単語を素早く把握

2.6 公報のAI翻訳



- ① 「公報番号入力」をクリックすると、公報番号入力の照会画面が開きます。
- ② 公報番号入力欄に翻訳したい公報番号を入力します。
- ③ 「翻訳開始」をクリックすると、別画面でAI翻訳が開始されます。

書誌情報

出願番号	CN201680027955.3 (CN201680027955) [2016-04-19]
文献番号	CN107912085A (CN107912085A) [2018-04-13]
発明の名称	用于制造连接载体的方法、连接载体以及具有连接载体的光电子半导体组件
出願人	欧司朗股份有限公司; 贺利氏德国有限公司; 阿兰诺德股份有限公司
発明者	约尔格·埃里希·佐尔格; 斯特凡·齐格勒; 迈克尔·奥斯特根; 亚历山大·皮特斯; 埃克哈德·迪策尔; 迈克尔·贝内迪克特
I P C	H05K3/10[200601]; H05K1/05[200601]; B32B15/08[200601]; B32B15/04[200601]; B32B15/00[200601]; H05K3/00[200601]; H05K3/38[200601]; H01L23/49[200601](H05K3/10; B32B15/00; B32B15/04; B32B15/08; H01L23/49; H05K1/05; H05K3/00; H05K3/38)
C P C	(B32B15/00; B32B15/04; B32B15/08; B32B2307/20; B32B2307/202; B32B2307/40; B32B2457/00; B32B2457/14; H01L2224/48091; H01L2224/97; H05K1/056; H05K3/0097; H05K3/103; H05K3/386; H05K2201/0358; H05K2201/0394; H05K2201/055; H05K2201/09063; H05K2201/10106; H05K2201/1028; H05K2203/1545; H01L2924/00014; B32B7/12; B32B37/12; B32B307/206; H01L24/48; H01L25/167; H01L31/02005; H01L33/54; H01L33/62; H01L2224/48225; H01L2924/12041; H01L2924/12043; H01L2924/1511; H01L2924/1532; H01L2933/0066)
ファミリーID	55802362
優先権主張番号	DE201510107657 [2015-05-15]; WO2016EP58643 [2016-04-19]
ファミリー	WO2016184632A1; DE102015107657A1; TW201707094A; KR20180021694A; EP3295774A1; CN107912085A; CN107912085B; US2018138379A1; US10468569B2; JP2018517307A; JP6856627B2

発明の名称 用于制造连接载体的方法、连接载体以及具有连接载体的光电子半导体组件

発明の名称 (訳文) 接続キャリアの製造方法、接続キャリア、および接続キャリアを有するオプトエレクトロニクス半導体アセンブリ

要約 提出一种用于制造至少一个连接载体的方法，所述方法具有如下步骤：A)提供具有平坦构成的覆层(1a)的载体(1)；B)将至少一个电绝缘体构成的绝缘层(2)添加到覆层(1a)上，并且使绝缘层(1)和绝缘层(2)材料配合连接；C)将至少一个电导体构成的导体(3)添加到绝缘层(2)的绝缘层(2a)上，并且将绝缘层(2)和导体(3)材料配合连接，其中导体(3)和载体(1)借助于绝缘层(2)彼此电绝缘。

要約 (訳文) 以下の工程を有する、少なくとも1つの導体層を製造する方法が提供される。A) 平坦な構成の被覆層(1a)を有するキャリアプレート(1)が提供され、B) 少なくとも1つの電気的に絶縁された層の絶縁層(2)が被覆層(1a)に適用され、キャリアプレート(1)と絶縁層(2)とが材料接合で接続され、C) 少なくとも1つの導電性構成の導体層(3)が絶縁層(2)の被覆層(2a)に適用され、絶縁層(2)と導体層(3)とが材料接合で接続される。

Japio-AI翻訳

テキスト入力 **公報番号入力**

翻訳対象: 発明の名称 表約 請求項 詳細な説明

図面表示: 代表図 全区

公報番号:

翻訳開始 クリア

入力例
日本(JP) JP5380583B9 JP2018000001A
中国(CN) CN107912085A CN85105596A
韓国(KR) KR20190059888A KR20000077499A
アメリカ(US) US20180064006A1 US4000519A

※ 公報のAI翻訳は有料オプションユーザー様へのご提供
(~50件/月)



- **原文非表示機能**

原文を非表示とし、翻訳文のみが表示でき、翻訳文のみのコピー & ペーストが簡単になります。

- **翻訳中断時のファイル出力**

「中断ボタン」により翻訳を途中で中断した場合でも、ファイル出力が可能になります。

- **ハイライトの引継ぎ**

翻訳時にある用語に対してハイライト指定を行った場合、次の翻訳時も同じ用語でのハイライトが維持されます。ハイライト指定は最大30日保存されます。

- **同一文献の再翻訳（有料オプションサービスにおいて）**

最初の翻訳から2週間以内であれば、翻訳結果を保存しています。したがって、その期間内で同一ユーザが同一文献を再度翻訳した場合、最初の翻訳結果を瞬時に表示することが可能になります。なお、改めて翻訳したい場合は、「再翻訳ボタン」の操作によって可能になります。



ご興味を持っていただいた方には、以下に試用のご案内をしております。

各種資料



[⇒「料金表・利用規約・試用・申込書・解約届」のページへ](#)

お客様から寄せられるよくあるお問い合わせ（FAQ）を掲載しました。

よくあるお問い合わせ(FAQ)



[⇒「よくあるお問い合わせ（FAQ）」のページへ](#)

ありがとうございました

一般財団法人 日本特許情報機構

お問合せ先

一般財団法人日本特許情報機構 サービス窓口 03-3615-5510 service@japio.or.jp



Japio-AI翻訳